

みぶ町政だより



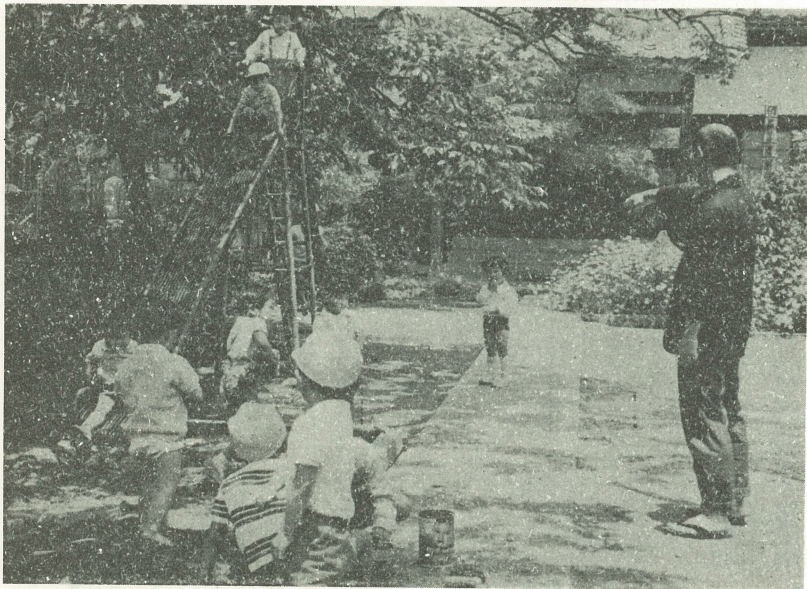
6

月号

昭和46年6月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場 (毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可 一部 5円00銭



農繁期に備えて

季節保育所を開設

今年も農家にとって一番忙しい季節を迎え、子どもを水難や交通事故から守り安心して農作業ができる季節保育所が藤井の円照寺境内に開設しました。

この保育所は、5月7日から1か月間にわたって開所しました。

また、これは町が昭和39年にはじめてから今年で8年目を迎えました。これには壬生町農業協同組合、栃木農業改良普及所などの援助がされています。

今年の子どもたちは18名で所長の岡住職石川清俊氏をはじめ宇都宮保育専門学院の生徒さん栃木農高の生徒さんたちが毎日子どもたちの面倒を見てくださいます。地元では、藤井小のおにいちゃん、おねえちゃんたちや農協の女子職員のみなさんがお世話をしています。

今月の人口

総人口	26,071
男	12,889
女	13,182
世帯数	5,795

農薬禍から健康を守る

あと 仕末も 大切

農業の近代化にもなつて、農薬の使用量はふるる。方、そして、年ごとに農薬による中毒事故もふえています。今年はずも北小北地区の子どもが農薬のあまびんをなめて死亡するという事件が起きています。

このような惨事を二度と起さないよう十分注意され、また、今盛んに使用されている農薬を正しく使つて事故防止にとめましよう。

これまでの中毒事故をみると農薬散布に着手して早すぎたり、その手を洗わないで食事をした人、かぜや下痢などで体の調子が悪いのに散布に従事した人、農薬の取り扱いが粗雑だったり、農天下に長時間にわたつて散布を続けたりなど、農薬散布にあつては、ゴム手袋や、マスクなど必ずつけて服装をととのえとにも、農薬の取り扱いは慎重に行ひ、体の調子が悪い時は、散布作業に従事しないこと。

散布作業は、朝夕の涼しい時間を選んで行ない、二、三時間て交響すること。

妊婦中や生理などで体がぐあい、作業後はもちろん全身を石けんよく洗い、衣類は毎日取りかえること。めまがしたり、頭痛があるなどの気分が少しでも悪くは、はやや遅く、盛夏期の天候変動は大きい見込みです。

天気予報



気象予報部の関甲信地方向こう三日の予報によると、入梅は例年よりやや早めで、つゆは六月下旬から活発となり、つゆ明け

ははや遅く、盛夏期の天候変動は大きい見込みです。

六月

例年より早めにつゆに入るが前半の前線活動の変動が大きく、つゆ空は長続きしない見込みです。下旬にはオホツツ間に高気圧があらわれ、梅雨前線の活動が活発となり、大雨の恐れがあります。

気温は低く、平均気温は平年並みないしやや低く雨ははやや多

七月

オホツツ海の高気圧が発達するで、冷涼な天候が続く見込みです。梅雨前線が中部日本に接近するので大雨が降りやすいです。中旬には一時夏空が広がるが、長続きせず、つゆ明けはやや遅れ、その後、暑い晴天が続く、月末頃気温はくずれるでしょう。

気温は平年並みないしやや低

八月

はじめ、夏型の気圧配置がずれ、不安定な天候になるがその後暑くなりましよう。しかし、北の高気圧の影響をうけやすく暑さは長く続かない見込みです。

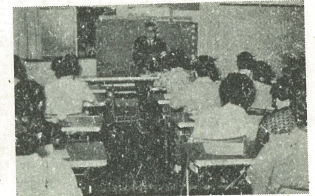
下旬に一時寒気が入るでしょう。気温は並みないしやや低く雨は並みの見込みです。台風が一、二個接近するは上陸するおそれがあります。

たらずく医師の診断を受けること、これらのことは、散布作業に従事する上での直接の「事故」とその「防止法」ですが、このほかに間接的な事故があります。

それは農薬飛散、近接にある収穫間近な作物の汚染、人家の食器類、洗たく物の付着、あまびの無責任な処理などが原因して発生する事故です。

中でも農薬のあまびんやあまびの処理がなされず、そのまま運や畑に放置したため、それを子どもが遊び道具にして中毒や死亡という惨事が起きています。

あまびんは必ず土の中に埋めること。あまびは絶対に踏まないこと。あまびが生じた場合は、使用者の責任は負けません。特に注意しましょう。



婦人学級が開講

壬生町教育委員会では、地域婦人の教養を高め、家庭のしあわせと明るく豊かな郷土づくりのため壬生、稲葉、南犬飼のそれぞれの地区で婦人学級が開講しました。この学級の行事はもりださんで、十数回にわたつて、交法規程、雨は並みの見込みです。

救急車出動状況 (3月中)

件数	死者	傷者	急患
7件	0人	8人	11人
(累計53件)	(累計2人)	(累計64人)	(累計39人)

ヒヤーツとしたあの一瞬を 忘れるな

茶花道、郷土の歴史などについてそれぞれ講師を特に依頼して行なわれましよう。

この内容の中には、九月に唐沢青年の家一泊二日の宿泊学習で、町長や教育長の歴史の話しを楽しく学べるものが予定されています。

六月三日午前九時から約三千名の婦人が参加して稲葉地区の学級が開講し、午前は交法規程について北島武男県派出所長の講話と、午後は古澤福田キヨさんの花道の話しがありました。

写真：稲葉地区婦人学級で交通安全の勉強中のおかあさんたち

もう一度考えよう

ゴミや危険物は収集日に

町政だよりの五月号でもお知らせしましたところで、ゴミや危険物の収集についてお願ひします。

★ゴミについて

ゴミの収集は、一部の地域を除いて週一回の巡回を実施しています。また、川や山など沢山のゴミを捨てている人がいますが、これは収集日に指定された場所に出せば巡回日に車で運ぶことになって、います。

★危険物について

先日殺傷発生誤では、町内全域で危険物の収集を行なつたところ、非常に多量の危険物を処理して、います。

この六月に一回収集することになり、ありますが、きれいに

ずけた後、また危険物が山にあってる所も見かけます。

○危険物は、役場から「危険物を集めます」という回収が巡つてから一定の場所に出していただきます。

○特にガラス類は危険ですから袋か箱に入れてください。

★下水の清掃について

町を美しくするために、下水道の清掃からではないで

ようが、各家庭の軒下を流れる下水は、このを見てもよくわかつており流れる余裕もないほどです。

これは共同作業として各町内ごとに集まつて清掃すれば大変きれいになることですよ。

これから、このような下水からかやハエが発生し、もしもです。伝染病の原因ともな

家族そろつて加入しましょう。交通災害共済

これは、県民総ぐるみで、交通事故によって災害を受けた人をみんなで助けあう制度です。

★書き替え (継続) を忘れずに

県交通災害共済制度が発足してから1カ年を経過した方が書き替えが必要ですから忘れずに手続きしましょう。

この制度は加入した日の翌日から1カ年となっています。

★1人350円で加入できます。

加入される方はいつでも受付をしています。下表のとおりで、掛金を役場住民課または支所に払い込めればついで加入できます。

★切替日を統一しました。

4月から事務の合理化を図るため、切替を集中的に処理し、窓口事務の繁雑を防止するために共済期間を毎年「4月2日から翌年4月1日」までの1年間と定めました。

★共済掛金は別表のとおりです。

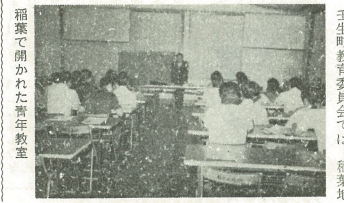
★家族そろつて加入しましょう。特にお子さんやお年寄りには交通事故が多いので是非加入しましょう。

家族そろつて加入しましょう

共済掛金と加入日との関係

加入の時期	掛金額
7月1日～7月31日	270円
8月1日～8月31日	240円
9月1日～9月30日	210円
10月1日～10月31日	180円
11月1日～11月30日	150円
12月1日～12月31日	120円
1月1日～1月31日	90円
2月1日～2月28日	60円
(29)	
3月1日～3月31日	90円

青年教室はじまる



稲葉で開かれた青年教室

壬生町教育委員会では、稲葉地区の青年団体を加入者を対象として県委託青年教室を開講しました。この教室の内容には、地方自治の理解、交通道路の高層など、また一般教養、レクリエーションを折りまぜてあり、個々の青年の人格形成のため、実施されるものです。

この教室は来年三月まで、十六日間、にわたつて実施されます。また、南犬飼地区、藤井地区の青年団体を対象とした青年学級も併せて開設され、若い青年たちの勉強の場として、一般教養、レクリエーションなどが実施されます。

六月五日、午後八時から稲葉公民館第二回目的教室が開かれ、人命尊重について、弁護士の高瀬秀男氏の講話と話し合いが行なわれました。

昭和47年3月卒業する高校生および中学生の求人受付を始ました。

高校卒 46年5月1日から
中学卒 46年6月1日から

中卒求人については中卒者向求人情報に掲載周知する関係から8月31日までにお申込みください。

栃木公共職業安定所求人係
TEL (22) 4135

